

受付番号	5	受付月日	11月16日
		午前・午後	1時35分

東郷町議会議長 近藤 鑛治 殿

東郷町議会議員

議席番号16番 氏名 星野 靖江 ㊟

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 高齢者の人材活用と生きがい活動について	<p>今、地方自治体は人口減少、高齢化、地方経済の行きづまりの中で、多様な視点からそのシステムの確立をめざした具体的な取組みが求められています。</p> <p>①介護保険制度改正により 2017 年度から「要支援1、2」の高齢者向けサービスの一部が、全国一律給付から市町村へ完全移行されます。そこで、高齢者人材の掘り起こしなどが、考えられますが当局の対応策は。</p> <p>②シルバー人材センターでは、地域貢献・地域再生・高齢者の生きがいの場所であり、高齢者の知識や経験を生かして活躍されています。その現況は。</p> <p>③コーディネーター育成事業に対する考えは。</p> <p>④高齢者人材活用の観点から、適正な空き家管理向上のために、シルバー人材センターへ委託する考えは。</p> <p>⑤地域社会の支え合い活動を担うことができる元気なシニア層の人材確保の観点から、介護予防や生活支援などの情報を提供し、関係事業所が共有できるようなネットワーク化の考えは。</p>	町長 担当部長
2 まちの情報伝達番組について	<p>まちの情報伝達番組として、身近なニュースや活動等を紹介する番組がスタートしました。</p> <p>①いこまい館内の一隅に、映像情報コーナーが設置されていますが「まちのチャンネル」と捉えた場合、当局の考えは。</p>	担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
3 町立図書館運営と少子高齢社会の対策について	<p>② 公共施設内の設置条件等もあると考えられるが、映像のみのため、通り過ぎてしまうのが実状です。その映像画面をじっと見ている人に時々出会います。公共空間であり、音量調整が必要になりますが、まちの情報伝達提供の場のひとつと考慮し、発想の転換を図った工夫と今後の方向性は。 (巡回バスの待ち時間などの利便性など)</p> <p>(1) 町立図書館の取組みについて</p> <p>① 町立図書館は文化・知の拠点として、選書と配架、閲覧と貸出業務であり、長期的・安定的な資料貯蔵等であると認識しています。東郷町施設サービス株式会社に委託後の運営状況は。</p> <p>② 書庫の蔵書数も増加傾向にあると思いますが、ジャンル毎の検索システムや情報発信の取組みは。</p> <p>③ 少子高齢社会を向かえ、子育てや高齢者に対する図書館事業の現況と今後の取組みは。</p> <p>(2) 町立図書館は子育て支援の観点から事業を推進していると認識しています。 特に館内の「読み聞かせ」のスペースには、赤ちゃんから幼児や児童が、思い思いの場所で本を広げ、静かにマナーを守るなど、和やかな居場所になっています。また「おはなし会」では、真剣な眼で聞いている姿に微笑ましささえ感じられます。 そこで、図書館は知的財産であり、人づくりであると思いますが、現況と今後の取組みについてお尋ねします。</p> <p>① 子ども向け蔵書数と全体の比率は。</p> <p>② その貸出数の推移は。</p> <p>③ 子どもの居場所づくりとしての図書館運営は、小さな町だからこそ、その特性を生かした事業運営が可能であると考えられます。今では、町民会館3階の図書館から他の町内施設等と連携した貸出業務運営が可能となり、図書館事業の推進に努めていますが、今後の検討課題は。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。